

第30回

うつのみやこども賞だより

平成25年度 6回

2013年11月3日発行

市内5・6年生の選定委員さんたちが、月に4冊の本を読んで、年間で一番人気の高かった本に「うつのみやこども賞」を贈っています。

《今月選ばれた本》

『サラの翼』

稲葉なおと／著（講談社）



～読んだ本の感想よ～

- 旅の途中でおこる様々な出来事が楽しかったし、おじさんのやさしさに感動しました。
- 言葉が通じない悲しみと、港というおじさんのふがいなさにこの先の不安におしつぶされないでいる所はたくましいなと思いました。
- 知らない人と旅をするってとても大変なのに、仲良くなれたサラはすごい。
- サラとコウのやりとりがとても面白かった。
- サラが本当のコウのことを知って、うちとけて

いくまでがおもしろかった。

- ダンスを教えていたところでは基本が大切だってことがわかった。
- 登場人物が個性豊かでおもしろいと思った。

『下からよんでもきつねつき』石井信彦／著(偕成社)

- ツクモ神たちの不思議な力におどろき、わくわくした。ツクモ神たちが持ったやさしい心にくむ心は、とても人間と似ていると思った。ツクモ神は本当に居るかもしれない！
- おばあさんにフクロウの専属の照明さんがついたり、不思議でおもしろい。
- いろんなしれんをのりこえていくすがたがとてもよかったです。
- つくも神の争いにまきこまれている姿をみて、「がんばれ！！」と声をかけたくなる本です。
- 出てくるツクモ神たちがとてもユニークで面白かった。
- どんな心のもちぬしでも心を入れかえることができると分かった。

『おれのミューズ！』にしがきようこ／著（小学館）

- ミーミのためにかいた絵が樹のやさしさを伝えてきました。
- 絵について、くわしく知ることができる本でわかりやすかった。
- 松林図のよさがとてもつたわってきておもしろかった。（まるで見ているよう）
- 絵を描いてみたくなるような本だった。
- 樹の絵がみたい！

『声をきかせて』榎崎茜／著（講談社）

- 宝探しをしているようで楽しかった。
- 「学びの冒険」ストーリーだった。
- 3人がイルカの手をみつけたとき、まさか！とおもった。
- 悠介は、部屋から出てきてくれるような気がしました。
- タイムカプセルを開けた後が見たいです。
- 香木を自分もたきたいと思った。